

経営方針

当会は、愛媛県を事業区域とし、J Aバンク会員である県内のJ Aと当会が一体となり、「J Aバンクえひめ」として、お互い助け合い発展していくことを共通の理念として運営している相互扶助の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会は、農家組合員および地域の皆さまが県内のJ Aにお預けいただいた大切な財産である貯金を源泉として、愛媛農業発展のために農業融資に積極的に取り組むとともに、地域経済の発展に寄与すべく地元企業や地方公共団体などへの融資にも積極的に取り組んでおります。

「一人は万人のために、万人は一人のために」の相互扶助精神のもと、当会はJ Aグループの一員として、J Aとの強い絆とネットワークを形成することによりJ A信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、資金供給や経営支援などの金融サービスの提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域貢献活動にも取り組み、お客さまから親しまれる金融機関を目指しております。

■ 経営理念

J Aとともに、農業・地域金融機関として
愛媛農業の振興と活力ある地域社会の発展に貢献します。

中期経営計画

当会では、向こう10年後を見据え、平成25年度からの3ヶ年が最も重要な期間と位置付け、出来るだけ前倒しで取り組むべきものは取り組んでいくことを基本とし、中期経営計画（平成25年度～平成27年度）を策定しております。この中期経営計画に基づき、J Aバンクえひめの更なる発展に向け、「安定的収益還元機能の強化」および「J Aバンクえひめ本部機能の強化」に役職員が一丸となって取り組んでおります。

■ 中期経営目標

J Aとともに、食と農業を通じて、
地域の皆様に選ばれる金融機関、J Aバンクえひめを目指します。

■ 基本戦略

1. 安定的収益還元機能の強化

J Aに対する収益還元力を強化します

【主要施策】

- ①収益力の強化
- ②経営の合理化・効率化
- ③経営・業務管理態勢の高度化
- ④財務基盤の充実
- ⑤組織力の強化

2. J Aバンクえひめ本部機能の強化

J Aバンクえひめ県本部としての
機能強化に取り組みます

【主要施策】

- ①利用者基盤拡充等の支援
- ②地域・社会への貢献
- ③事業運営体制変革支援
- ④健全性確保支援
- ⑤基盤インフラの整備
- ⑥人材開発支援

経営体制

当会は、経営意思決定機能と業務執行機能を分離することで、経営の一層の健全性向上と専門性・機動性のある業務執行に努めております。具体的には、業務の基本方針や貸出限度額の決定などは会員の代表で構成する経営管理委員会が行い、経営管理委員会が定めた枠内における日常の業務執行を実務に精通した者で構成する理事会が行う仕組みになっております。

経営管理委員会は意思決定機能のほかに理事の職務遂行の監督機能も有しており、理事の職務遂行の合法性・合理性・適切性などを監督しております。

